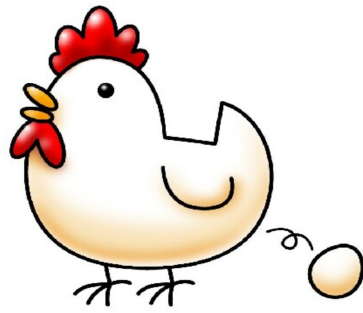


活動報告

「わかたけ社会センター」 (外班)

今年も残りわずかとなってしまいました。農耕班では、皆で植えたさつま芋の収穫が終わり、広報高福が発行される頃には里芋の収穫も終わっているでしょう。頑張って植えた芋の収穫を、皆心待ちにしていました。養鶏班では、毎日鶏の世話をしていますが、餌作りには餌やり、鶏舎の整備など力仕事もたくさんあります。そんな中、女性利用者も負けずに頑張っています。そんな鶏の有精卵を使って、



食品加工班では味付け卵も作っています。醤油味と味噌味の2種類あります。おなじみのジャムや味噌をはじめ、種類豊富なラインナップとなっています。是非ご賞味ください。

生活支援員 三井純子

「たけのこ」

今年最後の『たけのこ&仲間たち展』が、11月26日(月)〜30日(金)に開催されました。

バッグ・蜂蜜・着物リメイク・和小物・フェルトと雑貨・ニット・絞りリメイク・ニット小物・陶器・ツールペイントと、たくさん作品が展示されました。

今回は秋/冬の皆さんの手づくり作品が所せましと並び、目移りしながら楽しませていただきました。

お客様も沢山いらしてくださり、お茶を飲んだり、ランチを食べたり、お話をしたり、また、気に要った作品を購入したりと、有意義な時間を過ごされたと思います。

「ばんぶーはうす」でつくった「かぶ」には、皆さん大きくてビックリしていました。酒巻さんのお家で採れたシークワサーは、絞ってお湯で割ったら身体からほんわかと温かくなり、さつまいもは甘くてほくほく。「は

つ味」で作った特別ランチは、一日限定10食とプレミア。日替わりで毎日食べていた方も毎回美味しいと喜んでおりました。

また、来年の干支、いのししの親



子の講習会を受けているお客様もいて、それを見ていたら、「今年も終わりかし」と感慨深くなり寂しささえ感じました・・・いやいや、来年も『たけのこ&仲間たち展』開催いたします。是非遊びに、観に、お買い物にお越し下さい。

生活支援員 大庭美香

「ばんぶーはうす」

ばんぶーはうすのフロアーは利用者の皆さんの変わらぬ笑顔や明るい笑い声で賑わっています。

8月29日にはウルトラ運動会に赤組として参加しました。残念ながら赤組は負けてしまいましたが、ばんぶーはうすの利用者さんが、400名以上の参加者の中から最優秀選手賞を受賞しました。本人だけではなく、他の利用者さんも「おめでとう!」「よかったね!」「やったね!」と自分のことのように



喜んでいたのでとても微笑ましかったです。

生活支援員 坊ノ下崇志

「わかたけホーム」

柏市くらし部会・松戸圏域障害者グループホーム等連絡協議会合同研修

わかたけホーム職員9名で、柏市くらし部会・松戸圏域障害者グループホーム等連絡協議会合同研修に参加しました。テーマは「グループホームにおける『自立』」で、グループワーク等を行い、それぞれが思う『自立』や、グループホームの役割について話し合いました。

『自立』の考え方は、人それぞれ違い、保護者や他法人の方たちと意見を出し合うことで、グループホームの支援のあり方や、自分自身の支援について思い返すいい機会になりました。

今後このような研修の機会があれば、積極的に参加し、法人内の意見だけでなく、外部の様々な意見を取り入れることで、入居者さんのグループホームでの生活がより良いものになるよう支援していければと思います。

管理者 川上裕己

「わかたけ介護」

寒い季節になりました。皆さんは体調を崩したりしていませんか?わかたけ介護にとっては1番と云っていい程、忙しい季節になりました。ここだけの